

# One And Only

～ 思 い 出 す 敬 の 心 ～

## 授業の概要 3年 教材「アイツの進路選択」

夏樹と真一は、進路選択に直面します。真一は真剣に考えておらず、先輩のいる北西工業の建築科を希望として提出していました。夏樹は将来コンピュータの仕事がしたいという夢もあり、北西工業の情報科への進学を希望しており、2人は「一緒の高校に行こう」と約束を交わしていました。ところが二回目の進路希望調査書を提出する段になって、真一は迷います。そして将来が限定される北西工業の建築科ではなく、水明高校の普通科に行こうと決心します。真一は夏樹にその旨を伝えます。このような進路選択をめぐる真一と夏樹の思いを共感的に理解し、人間関係について考える内容です。

## 生徒の感想

- ・他人に振り回される人生を送っていたら、自分の望む未来はこないかもしれないなと思いました。
- ・夏樹の愛がめっちゃ重いです。
- ・自分も、一年生の頃から強く希望する進路はあるものの、友人が希望する高校へ揺らいだことはたくさんありました。でも、友人や先生と相談する度に、その志望校への気持ちが強くなりました。
- ・夏樹が真一から自立しないとイケないと思います。
- ・2人で同じ高校に行くと約束したのなら、約束は守らないとイケないと思う。2人で将来のことを納得する形で決めていかないとイケません。
- ・「好き」と「進路」は違うと思います。相手の考えを尊重することも一つの考え方だと思います。相手に合わせるのではなく、自分自身の考えを優先することが大切だと改めて分かりました。
- ・相手のことを思うとは、相手が自分のことを考えずに、自分と合わせていたとしてもちゃんと自分の人生だから、自分のことを優先して欲しいと相手に伝えることだと思います。

◎3年生では各担任の先生が全ての学級で授業を行っていくローテーション道德が始まりました。各先生による内容は次号で紹介させていただきます。



## 2年 ローテーション道德開始！2学年所属の教員が各クラスをまわって道德の授業をしています。

★森岡先生：教材 「虎」（虎の一役にかけた八輔の心の変化と、舞台後の涙のわけについて考えることを通して、自分らしさを発揮することのよさに気づき、個性を伸ばして充実した生き方を追求していこうとする道徳的実践意欲を培う。）

- ・どれだけ脇役でも他の人は見ているということがわかりました。何でも一生懸命に頑張りたいです。
- ・八輔を見て、私もここで満足したらダメだなと、もっと目標を上げようと思いました。
- ・自分から学びにいけない、いつかきっと満足できるということ学んだ。

★森先生：教材 「樹齢七千年の杉」（縄文杉を前にして心動かされる筆者の思いを共感的に理解することを通して、人間の力を超えた自然の雄大さや悠久さに気づき、畏敬の念をもって自然を愛する道徳的心情を育む。）

- ・僕は、人間はなぜ自然に感動し、美しいと感じるのだろうと考えました。それは、自然は人間とは違って意思がなくて、自分たちがきれいにしたわけではないのに、ありのままの自然の姿というものが美しく成り立っているということが人間には信じられず、感動するのだと思いました。

★賀家先生：教材 「ガストロカメラ」（多くの困難と失敗を乗り越えて、胃カメラという未知のアイデアを実現させた杉浦睦夫、宇治達郎らを支えていた思いについて考えることを通して、真実を大切に、真理を探究して新しいものを生み出していこうとする道徳的実践意欲を培う。）

- ・新しい可能性に挑戦した宇治さんと杉浦さんはすごいと思いました。私は挑戦するときは怖かったり不安に思ったりすることが多いけれど、挑戦し続けると可能になるということがわかったので、挑戦していきたいです。
- ・諦めずに続ける、バカにされても続けるという粘り強い人になりたいと思った。

★小川先生：教材 「君、想像したことある？」（いじめの卑劣さを訴える春名風花さんの主張を共感的に理解することを通して、いじめをする人間の醜さに気づき、自分の弱さに打ち勝って、差別や偏見、いじめのない社会の実現に努める道徳的態度を養う。）

- ・いじめをなくすには、相手の気持ちになって考える心、いじめを止めようとする心、広い心、自分の間違いに気づく心が大切だと思いました。

## 授業の概要 1年 教材「自分以下を求める心」

## 生徒の感想

- ・自分より上の人を探して、「私よりこんなにすごい人がおるんやな・・・。」と考えると、「もっと自分をみがいてがんばろう。」とできるような生き方。そうすれば、少しずつ余裕が出てきて、自分以下を求めることは考えないと思うからです。この学習を通して、人には、私には、すぐみにくい部分があって、でも素敵な部分ももちろんあって、そんなことを考えられるようになったら、「本当に人権を守る」ことにつながっていくのかなと思いました。
- ・自分のダメなところやまちがいを、受けとめて、改善して、自信をつけたいと思いました。「自分以下を探す」のはなぜだろうとずっと思っていたので、この学習ができて良かったです。自信をつけて、楽しい学校生活を送りたいです。
- ・自分の悪いところと向き合って、減らしていきたい。良いところを増やして、自分を好きになりたい。自分以下を探していたのは、自分だけではないと知って少し驚いた。
- ・新しいことにたくさんチャレンジしていく生き方をしていきたいです。新しいことにチャレンジ=新しいこと、人、物に出会います。そうすれば、いつの間にか上へ上へ、自分以上を求めることにつながっていくと考えました。
- ・「以下」を見るのではなく、「以上」を求めることを意識して生活していきたいです。また、自分を守るのではなく、人を傷付けないように相手を優先したいです。
- ・自分の嫌いなどころ、好きなどころをしっかり理解し、好きなどころはもっと伸ばし、嫌いなどころはそれを改善する方法を自分なりに探して努力していきたい。
- ・自分を見つめ直して生きていきたい。良いところは伸ばして、悪いところは少しずつ減らし、自分より上の人を見て一生懸命がんばりたい。



き り と り

保護者の皆様

道德通信を読んだ感想があれば、担任までご提出をお願いします。次号への掲載をさせて頂く場合があります。カラー版をHPに掲載しておりますのでそちらもぜひご覧下さい。